

# 警城大衆新聞

毎月二回 一日十五日發行  
定額 一月十元  
廣告 一行五十銭  
料（場所指定十銭増）  
發行所 警城大衆新聞社  
長谷川 兵衛  
副編輯 平野 木町  
三六番地  
發行所 警城大衆新聞社

## 家賃問題を論ず

高橋 靜堂

不景氣は日を送るに従ひ益々深刻化され、巷に苦惱の聲は満ち緊縮、緊縮を口々に叫んで右往左往する現状である。殊に金解禁の聲と、歳末を眼前にひかへて不景氣は尖鋭化してゆこうとしてゐる。吾等の家庭生活も極度に困窮に傾してゐる。

この時に當つて、支出の節約が吾等に課せられたる唯一の道である。而して何を先づ節約すべきか、數年に渉る、不景氣時代の續連は吾等の身邊から冗費を完全に奪つてしまつた。

今更何の節約があらう、是れ以上の節約は家庭生活の死である。

吾等が、吾等の生活費を顧みると、岩石の如く嚴然として其の基部を占むるものは何か、吾等の家庭生活を極度に脅かすものは何にか、これは家賃である。

可能なることは勿論である、此の点を高調せる現下の輿論の動向は餘りの當然たる當然と吾等は信するなり。飲食物の費の極度の節約は、必然に吾等の体力を悪化し恐るべき結果を招来するからである。家賃引下げこそ、吾等の家庭生活を救ふ唯一の道である。

今日の家賃なるものは彼歐州戰亂當時の最も好景氣時代の家賃であつた、平町の如き二三年前に於ける家賃の増徴の際に横暴なる家主は、税金を云爲して二三割を増賃したる事を吾等は記憶するなり、則ち家賃の引上を斷行せし不心得なる家主等である。今日にして是れを談じ是れを論ずれば、實に不當と謂ざるを得ず、輿論の起るを茫然と待つまでもなく、家主たるものは此際當然自發的に引下ぐべきものである、然るに貪慾飽くなき彼等の多くは、今日に至つても尙ほ現状の不當を保持せんとするは實に惜むべき事である、宜しく反省三考し以て、此不況時代に最大の誠意を表示し、善處せん事を吾等は、賢明なる家主に望むものである。

這般社會民衆警城支部主催の下に借家人大會を開きて借家人の總意を以て決議せし要項の實行せん事に、吾等は微力なるも雖も聲援するに惜むるべき術もない。

止まるべき術もない。顧客の彼女は時代の先端を走つて、商人たるもの眞に愚圖々々としてゐるは許されぬのである、顧客の心の前途へ駆け出して、サア、とばかりにその要求するものを掴まさればならぬのである、即ち値下げのトップを切るものは必ず下がる、値下げせねば買れぬのである。

顧客の彼女は常に時代の先端を走つて行く、時世は今ハレルの旋舞が恐ろしい程の速度で値下げへ値下げへの陰りを立て、廻つてゐる、顧客の彼女は最大速度でその先へその先へ走り廻つて行く、彼女は走る走る、値下げへ値下げへ。

緊縮、節約、金解禁、不景氣は少しの猶豫もなく、少しも誤りもなく、ほんとうにマツタなしに進行して行く、モウ羽目なのである、急傾斜のスピードを下るスキの速度踏

値下の先端へ

歴代内閣が敢行せぬ、金解禁も新年の一月廿一日を以て斷行せらるゝ。

大衆片々

若松三氏に参事の椅子を譲りたるは近事の美談、殊に政治道徳の眞髓を發揚せしむ。

高深なる若松氏を擁する人の不徳のなすもの乎。

緊縮、緊縮、既に萎縮して

美名の姿に隠れたる

某女學校長に與ふ

桃原の夢を眠るが如き平和質朴りしか、〇〇村の問題に關して〇〇村に堂々たる校舎を修築する〇〇村の投書ありたりなれど、身は榮譽ある女子教育者として本社に其真相の事實を捉へて報告せしめ、然りしとせば、社界風教を恣まにし女生徒の性教育實を恣まにし皮肉であり亦た輕卒であるまいか。

驚いた!!!

平・加納活版所の印刷物

このままで安んじよは

下を自發的に決行されたし、殊に理髮料、活動館入場料、豆腐、酒、味噌、醬油等々。

驚いた!!!

このままで安んじよは

下を自發的に決行されたし、殊に理髮料、活動館入場料、豆腐、酒、味噌、醬油等々。

驚いた!!!

このままで安んじよは

驚いた!!!

このままで安んじよは

下を自發的に決行されたし、殊に理髮料、活動館入場料、豆腐、酒、味噌、醬油等々。

驚いた!!!

このままで安んじよは



# 大衆ホスト

大衆ホストを設け、普く天下の大衆諸君の不平不満或は注意警告の意志表示を目的として御遠慮なく御投書あらん事を愛讀者諸君に御願ひ申す。(係り)

▲少しく舊聞に属するが去る十一月廿三日夜八時頃松ヶ岡カフニ突如と姿を現はした怪物即ち正服の〇〇警部補と司法刑事の〇〇君キリンビール三本と洋食四皿、代金は〇〇かねと御歸に成つたとは昭和聖代の一不思議である。〇〇飲食醜談として賞揚するニユースペーパーはないかね、實に驚愕に堪ぬよ。(法律學生)

▲或る記者と稱する人某所に至り某紙には〇〇記事を〇〇するからと約束して〇〇したと暮向の金儲けには實に〇〇だ。(店主)

▲植田電力の小林美三郎君は人間らしい口をタク、君は東京生活時代特に旭商會事件やホン事件の真相を誰れも知らぬと思つて居たら大間違だよ、ドイダイ在中旬刊記者團に新年廣告位は出す事に金成(旬刊記者)に取次いて呉れたらね。

▲電話地中線の工事に下天の公道を泥田にして平氣で營業妨害をして居ら、何んぞ早く店頭を美化して呉れ、御役所に。(商店生)

▲養正會の政談演説會には呆れたね、彼れは何の假面を覆つて大衆を集めたのだ、何んにも得る所はないではないか、既成政黨や無産黨の進出、共產分子云々など批評する資格は何處にあるのだよ、此の不景氣に入黨料一圓は高過ぎるね、ドイダね十五位に負け、る事にしては如何で御座んせう。(無産者生)

## 木町の小僧

▲木町の派手の鳴さん、あなたに給料は幾ら? あなたの遊蕩費は幾ら? 若輩の癖に少しは御考へよ、最もコノ警部補は三丁目のハゲのミイサン、口説ても〇〇成らぬ奴をナゼ惡宣傳と罵聲を發するのです、藝者の人氣妨害はハゲの妙薬には成りませぬ。(藝者)

▲社民黨主催の家賃三割値下げの借家人大會も頗る意義があつたよ、大に今後活動して呉れ。(立町の町民)

▲町會の決議を無視した東部電力會社よ、電燈の値下は何日頃に聲明を發するの一日早ければ我々の幸運が来るのだよ、何んぞかして下さい。(仲間の安否吏)

▲流石に荒井署長は偉いよ、新田町に特別執行、徹底的に實行して下さいね、藝妓の〇〇を十二分に取締つて下さいよ。(南町の女)

▲〇〇見たりし猪狩君には敢行し得ぬ新田町の露射は近來の痛快だよ、大にヤツヲ呉れ荒井君、僕等の〇〇のみは慘酷だ。(南町生)

▲特別執行の名を籍りて三四時頃迄或る料理店の爐邊にガツパルのは誰か、或は官權亂用の城に入らんとすか、新田町の一營業者か〇〇をして居る事の事大に自戒したら如何でせうか、世の中が物騒でなりませぬ。(青年)

## 紅燈の巷より

▲本欄の記事に關して新聞業界の大先輩某先生が御執筆下さる、由を巷間に喧傳されて居ります、決して某先生の御援助ではありませぬ、某先生の立場が大層の御誤解を招來して御迷惑な紙の編輯營業には御指導御援助なき事を即ち全然無關係なる事實を明言して置きます、何分御

▲新田町の或る藝者(〇〇)さんの後妻に成るなんて御宣傳を取消すか、第二の〇〇さんも喜ぶ事でありませうね、手拭は百反も御作りになりましたか。(材質

## 君御安心あれよ

▲或る廿七日夜急行で懐かしの故郷東京へ御同伴で〇〇した何か御土産に呉れるのかね、三好家の花婿君は第一流の美人だよ、〇〇もないクセに妙に御澄ましね、サカカ〇計病院の令夫人の野心かね、ね

▲アタイは今年限りよなご、御宣傳した〇〇と申す奴、バタの臭ひする奥で第二のオオサとチン鴨も、第一のオオサが耳にしたら、愛想づかし、山茶花憎や雀止まれば花が散る、で御座いますか、吉野家のやほめ、去る日或る旗亭でね、戀も捨てやう出世すまい、まよ私に酒があ

▲城山の鐘の響はいと悲しく恨めしく思ふか、二葉家の松葉姐さん、戀にこがれて立つ夜、ではありませぬか、〇〇さ誰か此頃の紅燈明暗の夜はね、一ツの舞袖の御茶換同志笑ふ火鉢の向ふ前、マサカ夫れ程ではないでせう。

▲高配を煩ひましたが去る日〇〇をして親子共御健全なる由、但し長女の事なれば女學校の準備を、

▲谷口の小染姐さん、先宿はね、明け鐘ごか、泣いて居る御方も、さうさう、鳥肉で澤山に召上つて下さい、〇〇品澤のまり子、君が來た間のから白ひきは、廻すその手も、氣が重いな、〇〇さんにね、

▲或る一軒家の浮世離れのあの奥でね、去る降るあるの捨てられた戀に未練があるの、雨、です、是れは何家の〇〇

## 履物の御用命は

鈴木履物店  
▼年末に付大々的勉強  
平町三丁目  
電話二九番

平町五丁目  
佐藤齒科醫院  
齒科醫學士 佐藤武之

平四丁目八番地  
萬屋貨物自動車運輸部  
果實問屋營業人 萬屋  
電話二七三番

平一丁目  
常盤屋時計店

美味にして 強壯の効 滋強第一  
**スポンジ**  
本舖 檜屋長命堂  
各埠頭食品店  
錠ニピロクモヘンボツス 定 價  
三 價 定 酒 ンボツス  
店 理 代  
角 目 丁 五 町 平  
局 藥 邊 野 山

和洋銅鐵金物問屋  
**釜屋商店**  
平町 電話 一三九番